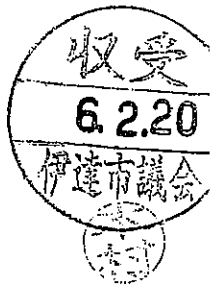


一般質問通告書



令和6年2月20日

伊達市議会議長 様

伊達市議会議員 岩村 和則

(会派名 自民クラブ)

令和6年 第1回伊達市議会定例会において下記のとおり一般質問をしたいので、伊達市議会会議規則第62条の規定により、質問の通告をいたします。

提出方法	受付月日	令和6年2月20日	受付順位	3
持参・電子メール	受付時刻	10時 10分	質問順位	3

1. 除雪体制について

今年の北海道内における冬の長期予報では、暖冬と言う予報である一方、日によっては、急激な冬型配置になり積雪量も増すと言う予報でありました。

本市においても、1月7日未明から低気圧の影響から積雪量が急激に増し、1月8日朝の時点で、二年前の伊達市内を襲った大雪を思い出させるほどの交通障害や、遠隔地域によっては市道がロックダウン状態になり通行不可能な場所も多く散見されました。遠隔地域の市民の皆さんは、中央から離れているから除雪車が来るのが遅いとは理解しつつも、近隣自治体と比べ、本市の除雪体制に疑問や苦情を投げかけられている現状であると認識するところです。

今後、本市における除雪体制について、強化の可能性含めて、どの様な考えや計画をお持ちなのか以下の質問をいたします。

- (1) 1月8日の大雪時の影響による市民からの苦情内容などを伺います。
- (2) SNSやLINEなどを活用した除雪に関する市民周知方法を伺います。
- (3) 地区別の市道除雪計画に対する市民への周知方法向上の可能性を伺います。
- (4) 除雪に係る働き手の人手不足における打開策があるか伺います。
- (5) 除雪委託に係る業者単価について、近隣自治体と比較した見解を伺います。
- (6) 将来的なGPS除雪ロケーションシステムの見解を伺います。

2. 冬季間におけるパークゴルフ場開設の可能性について

現在、道内におけるパークゴルフ競技人口は、平成28年頃を境に減少傾向になりつつあるものの、道内における愛好者数は増えており、他の屋外スポーツ競技に比べ、「三世代スポーツ」として定着し、幅広い年齢層に支持されております。

また、道内の屋外競技の中でも、一人当たりの年間施設利用率は、トップクラスであると感じており、まだまだ伸びしろの可能性はあると感じております。

また近年では、道内各地で冬型のパークゴルフ施設を展開する所も増えはじめ、利用者の年間を通しての体力づくり要望が高まるとともに、施設側も持続可能なパークゴルフ場を堅持するため、シェア拡大の可能性の高い冬でもパークゴルフが出来るコースとして注目を浴びております。

近郊における冬場の現状は、登別市の民間事業者が数年前より開始したことにより、本市の愛好者市民が、体力維持目的に登別市まで出掛けております。

今年度より、関内パークゴルフ場が新たな指定管理者に決定されたのは知るところであります。選定の過程において、独自事業として冬季間のパークゴルフ場へ着目しており、チャレンジしてみたいと記載されていたと記憶します。

市民の冬場の健康維持の観点や、持続可能な施設へと転換するチャンスと考えるところであり、本市の見解を伺いたく以下の質問をいたします。

- (1) 新たな指定管理者が冬季間におけるパークゴルフ場開設の独自事業に向け選定の際に掲げられた、目標達成に進展性があると聞くが、具体を伺います。
- (2) 新たな指定管理者が事業を開始した場合、冬季間利用料金の考えを伺います。